

2030年冬季オリンピック・パラリンピックの北海道・札幌招致に関する決議

オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界中の人々の相互理解と友好親善を推進し、世界平和の実現に大きく寄与する世界最大のスポーツ・文化の祭典であり、開催地の人々の想いを結集し、地域をはじめ国、そして世界の持続可能な発展につなげていかなければならない。

北海道・札幌における初めてのパラリンピック、そして二度目のオリンピックの開催は、市民のスポーツ振興や国際交流推進はもとより、スポーツによる健康増進や青少年育成、まちと心のバリアフリー促進による生活と福祉の充実、地域経済の活性化に貢献するものである。また、積雪寒冷地である北海道・札幌の魅力と活力を高め、市民に夢と誇りを生み、市制施行100年を迎える札幌市が未来に向けてさらなる飛躍をするための絶好の機会である。

よって、本市議会は、国や北海道の支援、市民や経済界、関係機関の理解と協力のもと、環境保全や経費圧縮に留意し、将来のまちづくりと合わせた議論を市民と共に進めながら、2030年冬季オリンピック及びパラリンピック競技大会の北海道・札幌招致を目指す意思をここに表明する。

以上につき、決議する。

令和4年（2022年）3月30日

札幌市議会

（提出先）札幌市長

（提出者）自由民主党、民主市民連合及び公明党所属議員全員